

ばんけい

教育ほつとにゅーす

かわら版

こ みち
教育の小径 No.149

2021 March

3月号



(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生

今月のことば

すべ みち
全ての道は
ローマに通ず

ローマ帝国の全盛期、世界の全ての道がローマに通じていたことから、物事が中心に向かって集中することや、やり方は違っていても目的が同じであることのたとえです。

著作権問題を考える

- テストやドリル、ワークなどの図書教材を複製利用することは、著作権法で厳しく禁止されており、侵害した場合には罰則を受けます。
- 学校では、いまなおこれらの教材を安易に複写・複製する行為が見られると指摘されています。法令遵守に努めることが重要です。

今月のシルクロードの日
記念日 (3月28日)

1900年(明治33年)のこの日、スウェーデンの探検家で、地理学者のスウェン・ヘーデンが、廃墟になっていたシルクロードのオアシス都市(楼蘭/クロライナ)を発見しました。

著作権法に触れてはいないか

学校の研修会に伺う機会がありました。テーマは「学校における伝統文化教育の考え方・進め方」でした。同様な内容のある教育雑誌に掲載したことがありましたので、その内容を簡単なレジュメにして持参しました。すると校長室で「先生が雑誌に書かれた『伝統文化教育』の部分をコピーして配ってあります」と言われました。

わたしは用意がいいなと思いつつ、この種のコピーは許されるのか、著作権法に触れないのかと思いました。

コロナ問題への対応で子どもたちは家庭学習を強いられ、学校はそのための教材やプリントの作成に追われました。ある先生が「社会科のプリントに写真や図表を取り入れたのですが、市販のテスト問題から複製させていただいたので、それほど苦労はしませんでした」と言われました。

いまではコピーという便利な機械があります。また、スキャンするという技術もあります。市販の教材を許可なく複製利用することは、著作権を侵害したことにならないのでしょうか。

私たちは毎日の生活のなかで、さまざまな著作物と関わり、それらの情報を活用しています。これまで、残念なこ

とですが、第三者が生み出した著作物を安易に複写する行為がたびたび見られました。日々の教育活動において著作物を活用するとき、「著作権」について正しい知識をもち、正しく利用することがきわめて重要です。

著作権法の趣旨を理解する

著作権は知的財産権の一つです。著作者がその著作物を独占できる権利のことで、第三者が許可なく利用することが法令で禁止されています。

学校で話題になる著作物には、教材出版社が作成した、テストやドリル、ワークなどの図書教材があります。

学校における複製(コピー)については、著作権法第35条に次のように規定されています。要約すると、学校の授業で利用するときには、公表された著作物を複製したり伝達したりすることができます。

ここだけを見ると、複製して利用することはできると受けとめられがちですが、第35条には「著作権者の利益を不当に害することとなる場合は、この限りでない」と、但し書きがあります。これを踏まえ、教材出版社などが営利を目的に作成した教材を複写することは違法になります。見本として配布された教材はもちろんのこと、購入

した教材も含まれます。

第119条には、著作権を侵害した者は10年以下の懲役または1000万円以下の罰金に処するなどと定められています。損害賠償を求められることもあります。著作権法という著作物とは、思想または感情を創作的に表現した小説、脚本、論文、講演などの言語、音楽、絵画、彫刻、地図、写真などさまざまな形態の表現物をいいます。

著作権の問題について研修を

学校では「子どものため」と思い、他人の著作物を安易にコピー利用するなど、つい違法な行為を行っている場合が少なくないようです。一般社団法人日本図書教材協会は、「テスト・ドリル・ワーク等の図書教材を複写機や印刷機などにより、複写もしくは複製して児童・生徒に使用させることは、著作権法によりかたく禁止されています」と注意喚起を行っています。

各学校では、図書教材に限らず、運動会や音楽会の表現、学芸会の台本のほか、研究紀要の作成、学校・学年通信の発行などの機会にさまざまな著作物に触れます。校内で、著作物の利用や著作権の問題について研修する場を設け、法令遵守の重要性について確認し合っ

学級経営の基礎

子ども相互の関わり合い

教師は一人一人の子どもを深く理解しようと努力しています。教師による児童理解は学級経営の基本です。あわせて、子どもたちが教師を理解することも求められます。

学級の子もたちと教師との関係を見ると、岐阜の長良川などで行われている鶺鴒を連想します。鶺鴒匠は多くの鶺鴒をそれぞれ1本のロープで操っています。鶺鴒匠は1羽1羽の鶺鴒の性格を深く理解し、信頼関係を築いています。鶺鴒の場面では、鶺鴒同士の関係性がほとんど見られません。学校では鶺鴒匠は教師に、鶺鴒は子どもたちに当たります。

ある学級の「帰りの会」で次のような発言を聞くことができました。

「今日、頑張った人は〇〇君です。体育の時間に、これまで跳べなかった5段が初めて跳べたからです。」

「〇〇さんは教科書を忘れた△△さんに見せていたので、〇〇さんは優しいことをしたなと思いました。」

いずれも自分のことではなく、頑張った友だちのことを報告しています。これは友だちのことを相互に理解し、子ども同士の関わり合いが深まっている証です。このような取り組みが帰りの会だけでなく、授業などの場でも行われるようにしたいものです。

教師が一人一人の子どもとの信頼関係を深めることはもとより、子ども同士の関わり合いが学級を集団として高めていくこととなります。ここが鶺鴒とは異なるところです。



教育の動向

空調設備の設置状況

文部科学省は公立学校における空調（冷房）施設の設置状況について、調査結果を公表しています。調査の時期は令和2年9月です。

小中学校の普通教室の全国平均の設置率は92.8%でした。岩手県が20.5%から90.8%へ、宮城県が34.5%から98.3%へ増えるなど、東北地方の各県での伸びが目立っています。北海道（4.3%）、青森県（26.2%）、秋田県（25.9%）を除く、すべての都府県が80%を超えました。100%の設置率だったのは、茨城、埼玉、東京、富山、滋賀、京都、兵庫、

鳥取、広島、山口、徳島、香川、大分の都府県でした。

音楽室や理科室など特別教室の設置率は55.5%でした。令和元年の調査と比べて増加しましたが、普通教室と比べると、低い状況にあります。

体育館の冷房設置率は5.3%にとどまりました。小中学校では、東京都が51.2%で、続いて滋賀県が8.4%、奈良県が7.6%でした。1%以下だったのは22県もありました。体育館は集会や体育科の授業だけでなく、災害時に地域住民の避難場所としても活用されますから、早急に冷暖房設備の設置が求められます。

空調（冷暖房設備）の設置に必要な費用は、その一部が学校施設環境改善交付金として国庫から補助されます。

北 俊夫の「実践と研究」の足あと

17

観点「関心・態度」の委嘱研究

昭和55年の指導要録の改訂で、各教科の評価の観点に「関心・態度」が新たに位置づけられました。この観点は、子どもの学習状況を学習意欲・態度と社会的な態度の2つの側面から評価するものです。現場からは「目に見えない意欲や態度をどのように評定するのか。そもそも評価できるのか」といった戸惑いが出されました。

当時の所属校は、千代田区立佐久間小学校です。文部省から昭和56・57年度の2カ年間「小学校教育課程実施状況調査研究協力校」として調査研究の委嘱を受け、主としてペーパーテストによる調査以外の内容についての評価方法の開発と調査研究に取り組みました。具体的なミッションは、社会科において学習指導要領の各学年の「内容」

の実現状況を観点別に把握することと、「関心・態度」の評価方法を研究・開発することの2つでした。

「関心・態度」の評価は、ペーパーテストで数量的に評定する方法はなじまないという考え方でした。また短時間で判定することは危険であるとも言われました。そのために、子どもの発言やノートの内容の分析、教師による態度や表情などの観察、自己評価の結果などを対象に評価しました。判断に当たって必要になる観点別の評価基準を小単位ごとに作成しました。

実践の成果は、研究発表会の場で公表するとともに、研究図書『「関心・態度」を育てる社会科の指導と評価』（明治図書）として刊行しました。

本研究の成果はその後、「関心・意欲・態度」に改められた観点の評価方法に受け継がれていきました。

INFORMATION

ばんげいの選べるテスト!

<p>基礎・基本のAテスト</p> <p>基礎基本 国語A</p> <p>5+1 5+1</p> <p>ていねいで分かりやすい問題。</p>	<p>基礎・基本と活用のNテスト</p> <p>基礎基本 活用 国語N</p> <p>5+1 5+1</p> <p>基礎・基本・活用</p>
--	--

2021年度 ばんげいテストのポイント!

無料!

見やすい3色刷

こたえでひき

児童用解答が 全員につきまます!

自分で読んで よく分かる! ぶりかえり! 最適!

自分で学べ力がつく!

編集後記

今年度、全国で採用された公立小学校の教員の採用倍率は2.7倍と、過去最低になったことが文部科学省の調査で分かったそうです。「教師＝大変」というイメージが定着しつつある中で「教師の魅力」をどれだけPRできるかが今後の課題かも知れません。(F記)



企画・編集：ばんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2021年3月1日